

次世代の防犯設備士・総合防犯設備士に向けて 常に自己研鑽を忘れず地域に暮らしの安全・安心をもたらす活動を

NPO 法人 兵庫県防犯設備協会 専務理事

兵庫県警察本部生活安全部長・兵庫県防犯設備協会理事長連名委嘱 防犯設備アドバイザー

総合防犯設備士・防災士

一種電気工事士

株式会社 セキュリティハウス神姫 代表取締役会長

島田 清



■はじめに

大きく社会構造が変化し犯罪が多様複雑化した社会が到来しても、防犯設備士・総合防犯設備士に求められるものは常に「継続的に安全、安心して暮らせる社会」の構築であるという理念の下、地域協会は、会員防犯設備士・総合防犯設備士に活動の機会を提供し、各防犯設備士・総合防犯設備士は常に最新の技術、知識を習得し自己研鑽に励まねばならないと2002年任意団体兵庫県防犯設備協会設立時より協会専務理事として、2005年よりNPO兵庫県防犯設備協会専務理事として協会活動をしている。

■兵庫県防犯設備協会の取り組み

- ・2005年 兵庫県防犯優良マンション認定制度 創設
(公社)兵庫県防犯協会連合会(公財)兵庫県習宅建築総合センター
(NPO)兵庫県防犯設備協会にて創設
兵庫県民に安全・安心して暮らせるマンションの提供を目指す



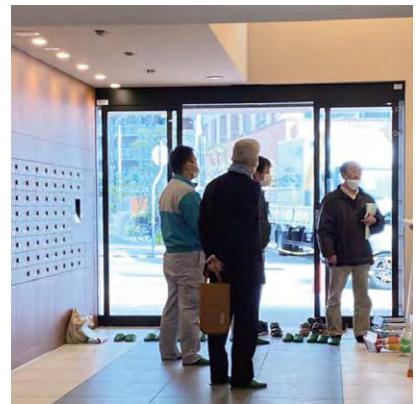
【兵庫県防犯優良マンション認定制度の特色】

- ・住戸室内インターホン非常押しボタンで非常時対応が24時間監視できること
- ・各部屋家火感知警備会社連動で火災保険割引対象可能な場合があること

・2017年 兵庫県防犯優良住宅登録制度

- (公社)兵庫県防犯協会連合会(NPO)兵庫県防犯設備協会にて創設
兵庫県民に安全・安心して暮らせる住宅の提供を目指す

2件の制度創設により防犯設備士・総合防犯設備士の申請側である防犯カメラ設計アドバイザー、CP製品アドバイザーとして活動の場の提供、また制度審査委員として地位向上に貢献できたと考える



活動の様子

・自己研鑽機会の提供

コロナ禍で大きく社会構造が変化し犯罪企図者がなにを考え行動するか不明な今、防犯設備士・総合防犯設備士に情報と学習の場の提供

2021年9月「コロナ時代の犯罪から日本を救う」と題した東洋大学桐生教授の講演会を企画、YouTube配信を日本防犯設備協会補助金にて実施した。



次世代の防犯設備士・総合防犯設備士が活躍するためには、国家資格がなくても設計・施工できる防犯設備工事(一部電気工事資格必要)提案に於いて所属企業の技術的要素向上は当然として、防犯設備士・総合防犯設備士の資質の向上は必須である。

日本の資格社会の中、団体認定資格である防犯設備士・総合防犯設備士は資格の有効性を最大限発揮するためには、ある有名な犯罪心理学者は「論じ待つだけで動かなければ何が問題で、どう解決したら良いのかに多分たどり着けない。」と説いている。これは、日本防犯設備協会の問題だけでなく約30,000人の防犯設備士・総合防犯設備士個々が活動し、社会に貢献し、必要とされるかが夢である防犯設備士・総合防犯設備士国家資格化的絶対条件であり、小生の活動が国家資格化の一助となると確信する。

勿論、個人の自己研鑽は必要不可欠として現代防犯第一世代・第二世代の者が世代交代し、次世代の防犯に携わる者へ地域防犯協会として道標的指針決定は我々世代の責務と考える。



防犯対策ガイド